

基 調 講 演

テーマ：小規模地方自治体における橋梁維持管理

講 師：山口大学大学院理工学研究科 教授 麻生稔彦



略 歴

昭和 61 年 長崎大学工学部土木工学科 卒業
昭和 63 年 九州大学大学院工学研究科修士課程 修了
平成 03 年 九州大学大学院工学研究科博士後期課程 単位取得退学
平成 03 年 九州大学 助手
平成 05 年 山口大学 助手
平成 21 年 山口大学 教授
博士(工学), 技術士(建設部門, 鋼構造)

研究活動・著書他

<最近の論文>

- 1) 北原, 渡邊, 麻生, アンケートによる小規模自治体の橋梁管理実態調査, 土木構造・材料論文集, 第27号, pp.25-31, 2012.
- 2) 今井, 山本, 麻生: 耐候性鋼橋梁の防食補修塗装法の実施に関する一考察, 土木学会論文集A1, Vol. 68 No. 2, pp.347-355, 2012.
- 3) 麻生, 徳永, 今井: 耐候性鋼材のさび生成に関する基礎的研究, 鋼構造年次論文報告集 第18巻, pp.617~624, 2010年.
- 4) 麻生, 井上, 小長谷, 山口県における耐候性鋼材を使用した橋梁の腐食調査, 鋼構造年次論文報告集, 第11巻, pp.489~494, 2003.

講演概要

近年、老朽化する橋梁の維持管理の重要性が社会的に広く認識されるようになってきた。一方で、現在使用されている多くの橋梁は地方自治体により管理されている。特に小規模な地方自治体では財政難のみならず、専門技術者の不足や技術情報の不足が懸念され、橋梁の適切な維持管理を実施することが困難であることが予想される。本講演では、アンケート調査およびヒアリングにより明らかとなった地方自治体における橋梁の管理体制、予防保全の考え方、事後保全の実態等を述べる。また、鋼橋を中心として点検における着目点および補修実施にあたっての考え方を示す。